

日本版DMO形成・確立計画

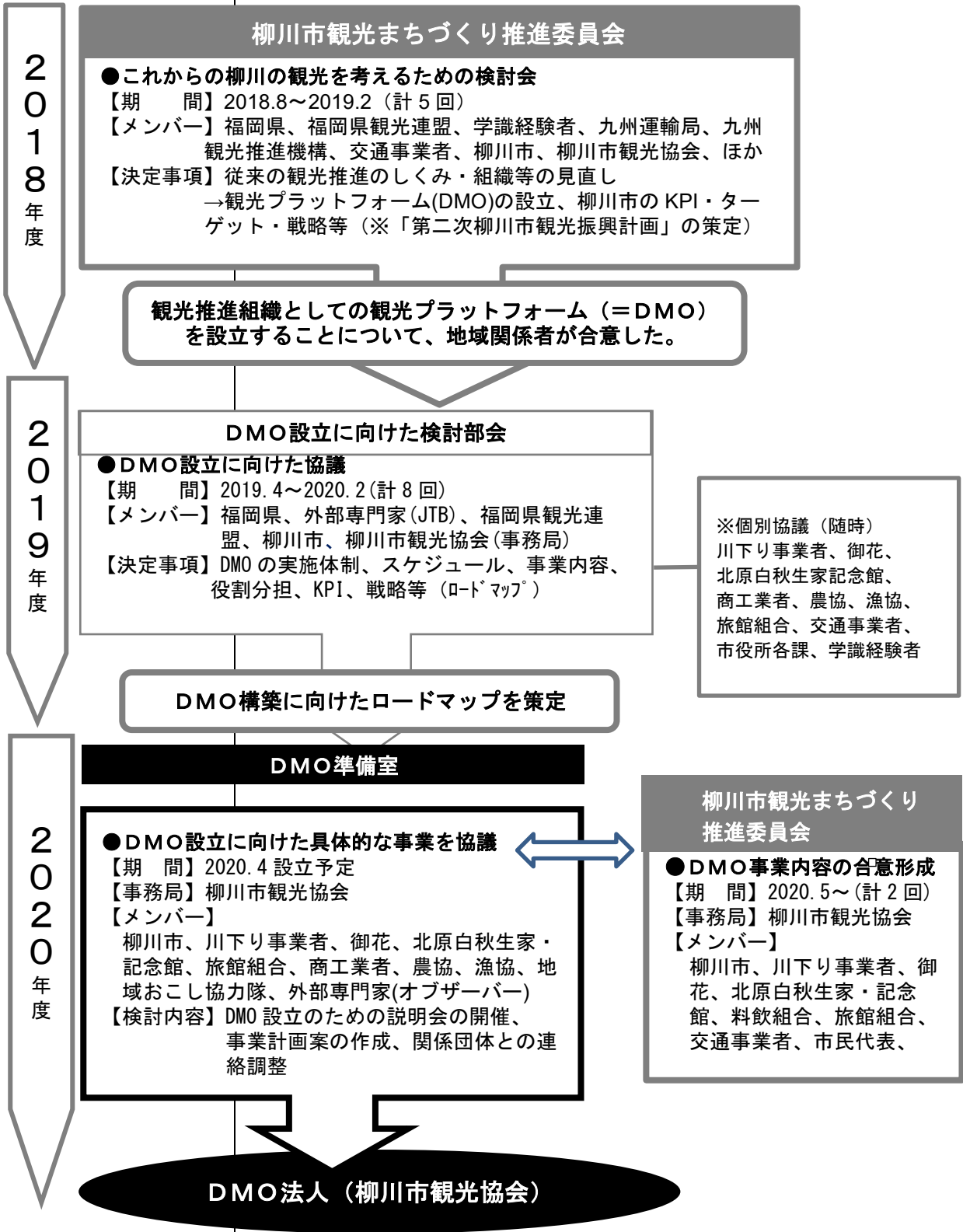
1. 日本版DMOの組織

申請区分	地域DMO	
日本版DMO候補法人の名称	(一社) 柳川市観光協会	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 福岡県柳川市	
所在地	福岡県柳川市沖端町 35	
設立時期	昭和 27 年 (1952 年) 設立 平成 30 年 (2018 年) 一般社団法人となる 令和 3 年 3 月 日本版 DMO 法人登録予定	
職員数	職員 10 人【常勤 10 名 (正規職員 6 名、非常勤 4 名)】	
代表者 (トップ人材: 法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者) ※必ず記入すること	(氏名) 高橋 努武 (出身組織名) (株) 高橋商店	(一社) 柳川市観光協会の役員 (委員長、副会長) を永年勤め、現在は会長として地域の様々なパイプ役となっており、観光協会が主催するイベントや市が所管する各種協議会等で活躍。成果を挙げられている
各種データの分析・収集等 (マーケティング) の責任者 ※必ず記入すること	(氏名) 風間 英人 「専従」 (出身組織名) (一社) 柳川市観光協会	自身の経験を活かし、柳川市地域おこし協力隊として 3 年間活動。主にフィルムコミッション (FC) として活躍。任期終了後、(一社) 柳川市観光協会事務局長として勤務。現在 3 年目。柳川 FC の理事長としても活躍中で、映像を使ったプロモーションについて高い知見と能力を持つ
プロモーションの責任者	(氏名) 江上 夏子 (出身組織名) (一社) 柳川市観光協会	民間企業で 10 年間勤務後、平成 27 年より (一社) 柳川市観光協会に勤務。情報発信を通じた国内外のプロモーションに高い能力を持つ。バスターの造成などにも関わっている
旅行商品の造成・販売の責任者	(氏名) 竹下 政志 (出身組織名) 柳川市地域おこし協力隊	着地型観光として取り組む「水郷柳川ゆるり旅」の商品造成、販売を担当する人材として令和 2 年 3 月から採用予定
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	柳川市観光課 商工・ブランド振興課: 物産・ブランド認定品 都市計画課: ハード面の環境整備 (地域公共交通) 建設課: 社会資本整備 企画課: 地域公共交通 その他 総務課、財政課、農政課、水路課、水産振興課、生涯学習課	

(別添) 様式 1

	福岡県商工部観光局：県全体の観光資源開発・人材育成・受入環境整備・プロモーション
連携する事業者名及び役割	<ul style="list-style-type: none">・水郷柳川旅物語企画会議（着地型旅行商品開発） 体験プログラムを実施し、魅力発掘や磨き上げを行い商品化へ結びつける取り組みを行う。・柳川商工会議所、柳川市商工会（地元特産品開発、商工業活性化） 市内事業者や行政と連携し、地元特産品を開発し販路拡大を行い、活性化をはかる・柳川市内各種団体、組合 柳川料飲組合や柳川大川旅館組合など、観光誘客に関係のある団体との定期的な意見交換の実施・西日本鉄道株式会社（交通事業者） 西鉄と連携できる賑わい作りを行い、福岡都市圏等を結ぶアクセスの維持・向上に結びつける・株式会社 JTB 福岡支店（外部専門家）・九州産業大学（協定締結、外部専門家）・川下り会社（観光施設）・北原白秋生家・記念館（観光施設）・柳川藩主立花邸御花（観光施設）・福岡県観光連盟（県全体の観光資源開発、プロモーション）

官民・産業間・地域間との
持続可能な連携を図るた
めの合意形成の仕組み



日本版DMOの登録に関する要領
3. 登録要件及び登録のフロー

(別添) 様式 1

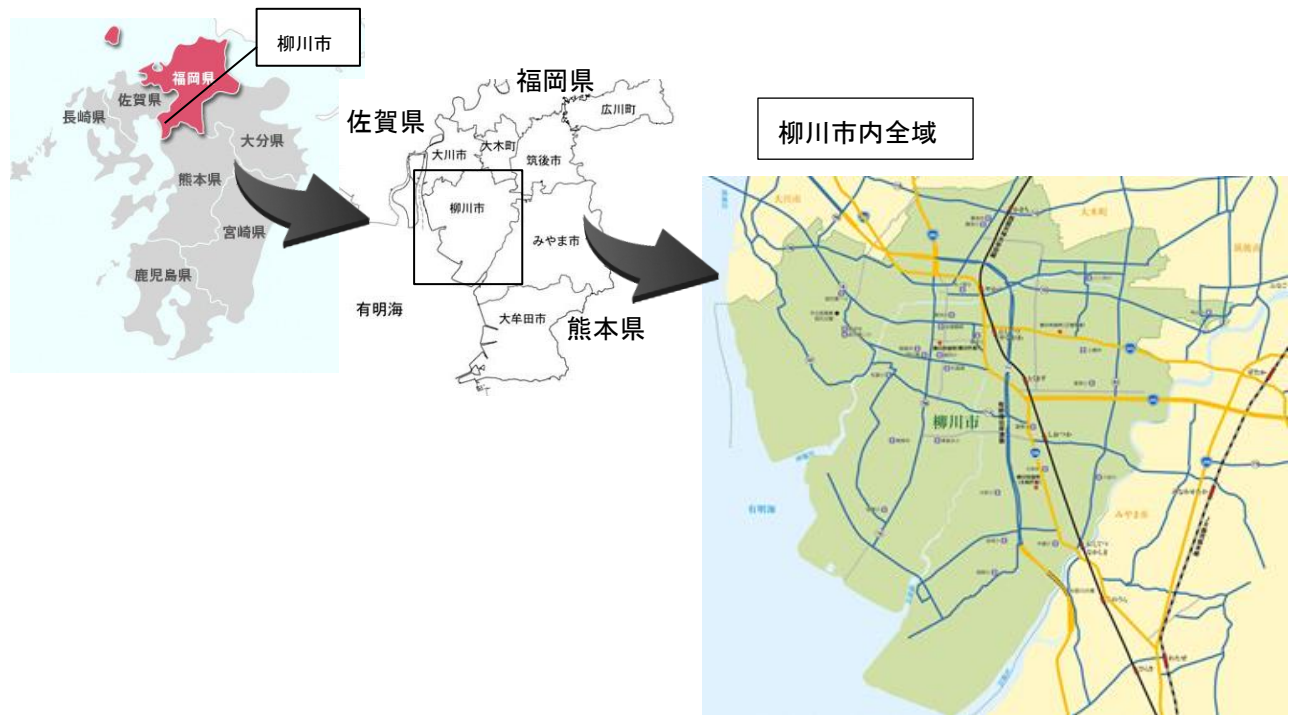
	<p>(1) 日本版DMOを中心として観光地域づくりを行うことについての多様な関係者の合意形成</p> <p>③日本版DMOが行う取組に関する連絡調整を行うため、行政や関係団体から構成される協議会等をDMOとは別に設置すること この項目に柳川市観光まちづくり推進委員会が該当</p> <p>②日本版DMOの組織内に行政や関係団体をメンバーとするワーキンググループなどの委員会等を設置すること この項目にDMO準備室が該当</p>
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水郷柳川ゆるり旅 着地型体験プログラム「水郷柳川ゆるり旅」。市民参加のワークショップ 【期間】2019.4～2019. 12 (計4回) 【メンバー】プログラム実施希望者(市民)、柳川市観光協会、柳川市(事務局) ・平成25年度、「住んでよし 訪れてよし」の観光まちづくりを市民団体等と協力して実施するため「おもてなし柳川市民会議」を設立。構成団体は、行政区長代表、各種団体、小・中学校、農協、漁協、商工業、旅館組合、西鉄柳川駅など。これまで、「できる人が できることから」を合言葉に挨拶運動や清掃活動を実施 ・今後はさらに、地域をブロック化し各地域のキーパーソンで構成する幹事会を設置し定期的に情報交換を行うとともに、必要に応じて住民参加型のワークショップを開催するほか、地域住民への啓発を目的としたシンポジウムを開催
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>(活動の概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市内2ヶ所の観光案内所の運営・管理と案内業務 ②白秋祭水上パレード・さげもんめぐり・納涼船などイベントの企画・運営 ③特産品等の販売と企画 ④レンタサイクル等のレンタル事業 ⑤旅行博等でのプロモーション ⑥インターンシップの受入やその他研修会の実施 ⑦観光ガイドの運営と研修 <p>(定量的な評価)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 開館時間の延長や土日スタッフの増員等観光客に対するサービスは向上しているが、多言語対応などインバウンド受入体制については十分ではない ② イベントについては次のような傾向がある <ul style="list-style-type: none"> ・白秋祭水上パレードの船は最盛期約140艘あったが、現在は70艘程度に減少。主な要因は船頭数の減少によるもので、高齢化や担い手が不足している ・さげもんめぐりは柳川の春を代表するイベントであるが、インパクトがある目新しい企画が少なくなっていることと、各地で雛まつりイベントが開催されるようになり、入込客数は減少傾向 ③観光案内所での特産品販売を開始し、お客様の評判も良く、収益増加にも貢献している ④レンタサイクル等のレンタル事業を開始したが稼働率は良くない ⑤旅行博等に参加しプロモーション活動を行っているが、効果測定までは行ってはいない

(別添) 様式 1

	<p>⑥インターンシップの受入や船頭研修などを実施し、次世代の担い手の育成を積極的に行っている</p> <p>⑦市役所と観光協会それぞれで行っていた観光ガイドを統一し、有料化しガイドの能力向上に努めている</p>
<p>実施体制</p>	<p>(実施体制の概要)</p> <p>(一社) 柳川市観光協会が母体となり、メンバーには、行政、宿泊業者、飲食業者のみならず、交通事業者、農業者、漁業者など多様な関係者が参画するなど官民が密接に連携した組織を運営。</p> <p>(実施体制図)</p>

2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

平成 17 年、柳川市、大和町、三橋町が合併し現在の柳川市が誕生した。観光面では西鉄柳川駅から沖端地区までの間に観光施設が集中しており、その他の地域は観光との結びつきが少なかった。市内全域に歴史・文化・自然があり、観光への理解を深めてもらうため、矢部川、筑後川と有明海に囲まれた市全体を「水」を基軸とした新たな水郷のイメージづくりとしてすすめたい。

【観光客の実態等】

交通用具は自家用車が約 60%、西鉄電車が約 25%、大型バスが約 15%。電車と大型バス利用者の多くは川下り、食事（昼）がメイン。自家用車は食事が多いと推測される。

観光客の立ち寄る場所は、西鉄柳川駅から沖端地区までの間に集中している。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

観光施設：川下り（掘割の風景、風情）、北原白秋生家・記念館、柳川藩主立花邸御花、うなぎのせいろ蒸し、有明海料理

商業施設：柳川よかもん館、ショッピングモール

自然：有明海（ひまわり園、ムツかけ・くもで網体験、干満、干潟、夕日など）
中山大藤、弁天桜並木、梅の木街道

文化：北原白秋をはじめとした多くの文人を輩出
柳川まり、さげもん

スポーツ：大相撲（雲龍、琴奨菊）

柔道（園田勇 オリンピック金メダリスト）

水泳（坂井聖人 オリンピック銀メダリスト）

柳川高校（テニス部、野球部、柔道部、ダンス部）

スポーツ大会：有明海旗少年剣道大会

(別添) 様式 1

<p>園田勇杯少年柔道大会 雲龍相撲大会 おもてなし健康マラソン イベント等：柳川雛祭り さげもんめぐり 桜まつり・流鏝馬 中山大藤まつり 沖端水天宮祭 中島祇園祭 柳川ひまわり園 水郷柳川夏の水まつり スイ！水！すい！ 三柱神社秋季大祭・おにぎえ 風流 白秋祭水上パレード 柳川よかもんまつり 白秋生誕祭 日吉神社節分祭</p>
<p>【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】 域内分布・施設数：西鉄柳川駅から沖端までの地域に 10 施設（ゲストハウス含む）、 その他の地域に 2 施設 収容力：約 900 名 施設規模：シングル 142 部屋 ツイン・ダブル 136 部屋 和室 80 部屋 その他 25 部屋</p>
<p>【利便性：区域までの交通、域内交通】 福岡市（天神）から西鉄天神大牟田線の特急で約 50 分。 福岡空港から高速バスで約 60 分。 佐賀空港から車で約 30 分。</p>
<p>【外国人観光客への対応】</p> <ul style="list-style-type: none">・柳川市観光協会に英語対応できる人材が 1 名勤務。外国人対応の一つとしてやさしい日本語に取り組んでいる・柳川フリーWi-Fi を約 50 箇所整備。民間独自の Wi-Fi 対応とあわせて整備されている。・多言語翻訳コトつなカメラを導入し、スマートフォンを使い主に飲食店のメニューを多言語で表記・今後の実施予定としては、外国人対応の専従スタッフ配置や旅中で楽しめるコンテンツ開発や情報発信ツールの整備

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	市や観光協会 WEB サイトの言語ごとのアクセス数や観光課 FB のリーチ数などで把握
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。	市で調査している住民満足度、アンケート調査等で把握
観光客満足度	観光客の満足度を把握	アンケート調査
観光動態調査	毎年の観光客入込客数、消費額等を把握するため	観光施設等への調査

4. 戦略

(1) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) <ul style="list-style-type: none"> ・掘割の風景、川下り、北原白秋、御花、うなぎのせいり蒸し、 ・市内の掘割の総延長は 930km。城掘り 4km を利用する川下りは、柳川の歴史・文化・風景が凝縮されている。 ・農業、漁業が盛ん。農業は県内有数の穀倉地域。漁業は海苔の生産が全国第 2 位 ・有明海に面しており、ここでしかできない食や体験がある ・これまで観光やさまざまなイベントに取り組んで来た実績と携わる人材の蓄積がある 	弱み (Weaknesses) <ul style="list-style-type: none"> ・観光は一部の地域、事業者のものであるとの意識がある ・川下り、うなぎなど既存の資源以外のコンテンツの発掘や、様々な立場の人々が参加できる環境整備が不十分 ・交通案内、サイン整備、キャッシュレスなど受入環境整備が不十分 ・インバウンド受入環境整備が不十分 ・観光のワンストップ化の整備
外部環境	機会 (Opportunity) <ul style="list-style-type: none"> ・福岡都市圏から西鉄電車で約 50 分、高速道路利用で約 1 時間の距離 ・約 1 時間圏内に福岡、佐賀、熊本 3 県の県庁所在地がある ・高速道路みやま柳川インター、九州新幹線開通や有明海沿岸道路の整備促進による利便性向上 ・福岡空港から車で約 1 時間、佐賀空港から約 30 分 ・東京オリパラ、世界水泳福岡大会、大阪万博など、世界中から人が集まるイベントが計画されている 	脅威 (Threat) <ul style="list-style-type: none"> ・交通網の整備により通過型が加速する ・観光従事者の減少による担い手不足や高齢化

(2) ターゲット

<p>○第 1 ターゲット層 福岡都市圏、首都圏を中心とした国内</p>
<p>○選定の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柳川市による「柳川市観光客動態調査」によると、福岡都市圏からの観光客数が多い。また、福岡市内から西鉄電車で 60 分とアクセス良好であることなどを踏まえると、福岡都市圏からの観光客は、柳川市にとって今後も重要なターゲットとなりうる。 ・また、少子高齢化による人口減少により、柳川市においても、今後国内旅行者の減少が懸念されているが、柳川市の場合は、県内客が大多数を占めているため、首都圏を中心とした日本国内からの観光客誘致は伸びしろがあると考えており、重要な

(別添) 様式 1

<p>ターゲットとなりうる。</p> <p>○取組方針</p> <ul style="list-style-type: none">・福岡市を中心とする福岡都市圏の市町村との広域連携・旅行博、商談会、メディア等への発信を通じ情報を届ける。・特に首都圏からは福岡市内の宿泊の旅行商品が多数を占めるため、柳川を周遊型旅行に繋げるような、旅行会社、航空会社、OTA等での旅行商品造成への働きかけを強化する。
<p>○第2ターゲット層</p> <p>香港・台湾・韓国を中心とした東アジア。日本を何度も訪れているリピーター。 タイ、マレーシア、シンガポールを中心とした東南アジア。滞在日数が高い旅行者。</p>
<p>○選定の理由</p> <ul style="list-style-type: none">・総務省「出入国管理統計」によると、福岡県への入国者数の8割以上を東アジア・東南アジアが占め、「柳川市観光動態調査」によると、柳川市を訪れる外国人観光客の国籍・地域は、韓国、台湾、香港の東アジアが中心。・来訪の満足度が高ければリピーター獲得に繋がり、安定した市場となる。・2024年に予定されている福岡空港滑走路の延伸による福岡空港への直行便の増便、今後、九州の各空港へのLCCの増便等により、当該地域からの旅行者の増加が見込まれる。 <p>○取組方針</p> <p>満足度調査の充実などにより再来訪意向につながる要因を分析し、分析結果に基づいてターゲット層に強力に訴求するコンテンツを磨き上げる。 新たな磨き上げたコンテンツについては、JNTO、九州観光推進機構、福岡県などへの情報提供により情報発信を強化すると同時にプロモーション活動等で旅行者へ継続的に情報を届ける。</p>
<p>○第3ターゲット層</p> <p>欧米豪の訪日リピーター</p>
<p>○選定の理由</p> <ul style="list-style-type: none">・総務省「出入国管理統計」によると福岡県の入国者のうち、欧米豪が占める割合は2%、「柳川市観光動態調査」によると、柳川市を訪れる外国人観光客のほとんどはアジアであり、欧米豪からの観光客の割合はと少ない。・一方、2019年のRWC期間中に福岡県を訪れた欧米豪からの外国人客は9月は対前年10%増、10月は対前年85%増の成果が見られた。特に、訪日リピーターは地方への訪問ニーズが高い傾向にあるため、今後も、2020東京オリパラなどの注目を集める時期に情報を届けることにより、新たなターゲットとなることが期待できる。 <p>○取組方針</p> <p>市単独では効果が弱いため、福岡県、福岡市と連携したPRを行う。 福岡市を中心とした九州10都市と協力し、欧米豪向けの情報発信を実施している。</p>

(3) コンセプト

①コンセプト 市民みんなでつくる交流力	市民の豊かな暮らしと観光客を受入れるおもてなし
②コンセプトの考え方	<ul style="list-style-type: none">・住んでいる人が楽しく暮らせるまち・国内外の観光客が何度も訪れたくなるまち・お客様をもてなす市民の気持ちが感じられるまち・ストレスフリー（移動、体験、飲食、宿泊）のまち

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	DMOを中心として、地域の関係者を集め組織化し、コミュニケーションの場を月に1回程度設ける
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	<ul style="list-style-type: none">・インバウンドの受入環境整備関連では、柳川フリーWi-Fiの整備や飲食店のメニュー表示等を多言語で翻訳するアプリ「コトつなカメラ」を推進し設置、利用している・平成28年度から取り組んでいるやさしい日本語を活用し、平成31年度からAI翻訳機と組み合わせた外国人対応を始めている・柳川フリーWi-Fi、コトつなカメラ、やさしい日本語を対応している店舗にステッカーやポスターを掲示している・観光客の意見や要望の把握と改善策を検討し、おもてなしの向上を図りながら快適に観光できるまちづくりをすすめる。必要に応じ行政と連携する
一元的な情報発信・プロモーション	DMOが中心となり、旅前や旅中情報を充実させる環境整備や効率的なプロモーション活動を行う

6. KPI (実績・目標)**(1) 必須KPI**

指標項目	単位	2016年 (度) 実績値	2017年 (度) 実績値	2018年 (度) 実績値	2019年 (度)	2020年 (度)	2021年 (度)
●旅行消費額	百万円	6,121	6,768	6,647	6,988	7,329	7,670
●延べ宿泊者数	人	51,534	81,384	95,776	97,186	98,592	100,000
●来訪者満足度	%	実績なし	実績なし	78.2	80	81	82
●リピーター率	%	実績なし	実績なし	50.1	56	62	63

*1「満足度」及び「リピーター率」は3年に一度の調査だったため、2016～2017年の実績値なし。
2019年度以降は毎年調査を実施する予定。

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方**【検討の経緯】**

- ・平成30年度に、「柳川市観光まちづくり推進委員会」（観光協会、行政、地域の観光関連事業者等で構成）で検討した「第二次柳川市観光推進計画」のKPIの考え方を踏まえつつ、R1年度に当該委員会のDMO設立に向けた検討部会で再度、KPIを検討。
- ・ホテル新設による延べ宿泊者数の急激な伸び等を考慮し、一部のKPIの数値を修正し、改めて地域の合意を得て、DMOのKPIとして決定。
- ・各種データは、「柳川市観光動態調査」（柳川市がS44年から年1回実施している調査、観光関連施設、交通事業者、宿泊事業者等への聞き取り調査）及び観光客へのアンケート調査（柳川市が3年に1回実施、2019年からは年1回実施予定）により収集。

【設定にあたっての考え方】**●旅行消費額**

- ・「柳川市観光動態調査」により算出。
- ・これまで過去5年間、増加傾向。
- ・5年間で、国内外の新たな市場からの観光入込客の増加、宿泊客数の増加、着地型旅行商品の売り上げ増等を見込み、2021年の目標値を設定。

●延べ宿泊者数

- ・「柳川市観光動態調査」により、宿泊施設への聞き取り調査を行い、算出。
- ・過去5年間、順調に推移している。
- ・特に2017年から2018年にかけて、ホテルの開業が相次ぎ、当初の予想を上回る宿泊者数の伸びを記録し、「柳川市観光振興計画」（H30策定）のKPI目標値（9万人）を前倒しで達成。
- ・KPIの前倒し達成を受け、今後のホテルの開業見込み、市内宿泊施設の客室数・客室稼働率などを踏まえ、目標数値を上方修正し、2021年までに宿泊者数を10万人にすることとした。

●来訪者満足度

- ・柳川市が実施する観光客へのアンケートにより集計。（3年に1回実施）
- ・アンケートの結果、約8割の観光客が「満足」と回答しているため、その水準を維持するべく、毎年1%ずつ満足度が向上させていくことを目標に2021年までの目標値を設定。
- ・2020年度以降は、1年に1回調査を実施し、外国人観光客の満足度も集計する予定。

●リピーター率

- ・柳川市が実施する観光客へのアンケートにより集計。（3年に1回実施）

(別添) 様式 1

- ・最新の柳川市の観光客のうち、リピーターは約半数（リピーター率 50%）。
- ・県内客のリピーター率（75.8%）に比べ、九州外の観光客のリピーター率（61%）が低い傾向にあることから、九州域外のリピーター率を高めることにより全体のリピーター率を 15% 上げることを目指し、2021 年の目標値を 63% に設定した。

(2) その他の目標

指標項目	単位	2016 年 (度) 実績値	2017 年 (度) 実績値	2018 年 (度) 実績値	2019 年 (度) 実績値	2020 年 (度)	2021 年 (度)
●着地型観光受入数	人	1,103	960	751	450	500	800
●観光案内所訪問数	人	88,837 (10,253)	86,517 (11,658)	87,848 (12,120)	77,305 (12,129)	90,000 (15,000)	100,000 (20,000)
●WEB サイト訪問数	件	—	—	211,092 (19,153)	集計中	232,752 (21,120)	243,580 (22,100)
●TV 映画等撮影回数	回	72 (3)	61 (3)	37 (3)	44 (1)	50 (5)	60 (10)

※括弧内は外国人観光客に関する数値

※項目及び年次・目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

2019 年度の「DMO 設立に向けた検討部会」において検討。地域の関連事業者とも KPI を共有し、合意を得た。

【設定にあたっての考え方】

●着地型観光受入数

- ・市観光協会が体験プログラム「ゆるり旅」参加者へのアンケート調査により算出。
- ・新規プログラムの造成や期間限定のプログラムの定例化を図ることにより、受入数の増加を目指し、2021 年までに年間の受入数 800 人を設定。

●観光案内所訪問数

- ・観光案内所でのカウントによる実数調査によりデータを収集。
- ・観光協会のサービスの向上や多言語化の充実を図り、2021 年までに観光案内所訪問数を 10 万人（うち外国人は 2 万人）とすることを目標として設定。

●WEB サイト訪問

- ・観光協会による市の観光情報サイト「福岡やながわ観光ガイド」の web データのアクセス数の解析により集計。
- ・今後、当該サイトによる市の観光情報の発信の一元化の強化、内容の充実を図ることにより、2021 年までにアクセス数を 243,580（うち多言語ページは 22,100）となることで目標値を設定。※アクセス数の伸び率は、必須 K P I の観光消費額の伸び率を充当

●TV 映画等撮影回数

- ・観光協会および柳川フィルムコミッションが依頼を受けた実績数をカウントすることにより集計。
- ・「柳川フィルムコミッション」と連携した映画・ドラマやロケ地の積極的誘致活動、国内外のメディアへの PR 活動により、2021 年には年間の撮影回数 60 回（うち海外 10 回）という目標値を設定。

※2020 年 1 月に柳川市を舞台とした中国映画を撮影済み。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入

年度	総収入 (円)	内訳
2018 年度	49,619,101 (円) ¥4,095,000 ¥3,394,000 ¥11,861,220 ¥1,270,000 ¥239,734 ¥28,690,803 ¥68,344	(内訳の区分例) 【会費収入】 【市からの補助金】 【市からの業務委託金】 【協賛金】 白秋祭水上パレード等 【手数料収入】 自動販売機等 【収益事業収入】 白秋祭水上パレード・観光カレンダー・物販事業等 【雑収入】
2019 年度	48,604,720 (円) ¥4,100,000 ¥3,394,000 ¥10,060,720 ¥1,000,000 ¥700,000 ¥29,310,000 ¥40,000	(内訳の区分例) 【会費収入】 【市からの補助金】 【市からの業務委託金】 【協賛金】 白秋祭水上パレード等 【手数料収入】 各種受付業務・自動販売機等 【収益事業収入】 白秋祭水上パレード・観光カレンダー・物販事業等 【その他収入】
2020 年度	49,044,000 (円) ¥3,900,000 ¥3,394,000 ¥10,000,000 ¥1,500,000 ¥700,000 ¥28,000,000 ¥1,500,000 ¥50,000	(内訳の区分例) 【会費収入】 【市からの補助金】 【市からの業務委託金】 【協賛金】 白秋祭水上パレード等 【手数料収入】 各種受付業務・自動販売機等 【収益事業収入】 白秋祭水上パレード・観光カレンダー・物販事業等 【出資金】 【その他収入】
2021 年度	72,194,000 (円) ¥3,800,000 ¥3,394,000 ¥10,000,000 ¥28,000,000 ¥2,000,000 ¥10,000,000 ¥15,000,000	(内訳の区分例) 【会費収入】 【市からの補助金】 【市からの業務委託金】 【収益事業収入】 白秋祭水上パレード・観光カレンダー・物販事業 着地型観光等 【出資金】 【ふるさと納税】 【国からの補助金】
2022 年度	79,094,000 (円)	(内訳の区分例)

(別添) 様式 1

	¥3,700,000 ¥3,394,000 ¥10,000,000 ¥29,000,000 ¥3,000,000 ¥15,000,000 ¥15,000,000	【会費収入】 【市からの補助金】 【市からの業務委託金】 【収益事業収入】 白秋祭水上パレード・観光カレンダー・物販事業 着地型観光等 【出資金】 【ふるさと納税】 【国からの補助金】
2023 年度	82,600,000 (円) ¥3,600,000 ¥3,000,000 ¥10,000,000 ¥30,000,000 ¥4,000,000 ¥17,000,000 ¥15,000,000	(内訳の区分例) 【会費収入】 【市からの補助金】 【市からの業務委託金】 【収益事業収入】 白秋祭水上パレード・観光カレンダー・物販事業 着地型観光等 【出資金】 【ふるさと納税】 【国からの補助金】
2024 年度	73,500,000 (円) ¥3,500,000 ¥3,000,000 ¥10,000,000 ¥32,000,000 ¥5,000,000 ¥20,000,000	(内訳の区分例) 【会費収入】 【市からの補助金】 【市からの業務委託金】 【収益事業収入】 白秋祭水上パレード・観光カレンダー・物販事業 着地型観光・船事業等 【出資金】 【ふるさと納税】
2025 年度	77,500,000 (円) ¥3,500,000 ¥3,000,000 ¥10,000,000 ¥35,000,000 ¥6,000,000 ¥20,000,000	(内訳の区分例) 【会費収入】 【市からの補助金】 【市からの業務委託金】 【収益事業収入】 白秋祭水上パレード・観光カレンダー・物販事業 着地型観光・船事業等 【出資金】 【ふるさと納税】

(2) 支出

年度	総支出	内訳
2018 年度	55,389,993 (円) ¥4,434,963 ¥7,998,286 ¥13,723,164 ¥28,610,529 ¥623,051	(内訳の区分例) 【事業費】 プロモーション・ガイド運営等 【案内所管理費】 【事務局費】 人件費等 【収益事業支出】 白秋祭水上パレード・観光カレンダー・物販事業等 【その他支出】 会議費・負担金等
2019 年度	49,528,873 (円)	(内訳の区分例)

(別添) 様式 1

	¥4,317,873 ¥7,920,000 ¥13,180,000 ¥22,965,000 ¥1,146,000	【事業費】 プロモーション・ガイド 運営等 【案内所管理費】 【事務局費】 人件費等 【収益事業支出】 白秋祭水上パレード・観光カレンダー・物販事業等 【その他支出】 会議費・負担金等
2020 年度	47,000,000 (円) ¥4,400,000 ¥8,000,000 ¥12,500,000 ¥21,000,000 ¥1,100,000	(内訳の区分例) 【事業費】 プロモーション・ガイド 運営等 【案内所管理費】 【事務局費】 人件費等 【収益事業支出】 白秋祭水上パレード・観光カレンダー・物販事業等 【その他支出】 会議費・負担金等
2021 年度	72,000,000 (円) ¥9,000,000 ¥8,000,000 ¥30,000,000 ¥23,000,000 ¥2,000,000	(内訳の区分例) 【事業費】 プロモーション・ガイド 運営等 【案内所管理費】 【事務局費】 人件費等 【収益事業支出】 白秋祭水上パレード・観光カレンダー・物販事業 着地型観光等 【マーケティング (市場調査、ブランド戦略等)】
2022 年度	75,000,000 (円) ¥10,000,000 ¥8,000,000 ¥30,000,000 ¥24,000,000 ¥3,000,000	(内訳の区分例) 【事業費】 プロモーション・ガイド 運営等 【案内所管理費】 【事務局費】 人件費等 【収益事業支出】 白秋祭水上パレード・観光カレンダー・物販事業 着地型観光等 【マーケティング (市場調査、ブランド戦略等)】
2023 年度	80,000,000 (円) ¥12,000,000 ¥8,000,000 ¥32,000,000 ¥25,000,000 ¥3,000,000	(内訳の区分例) 【事業費】 プロモーション・ガイド 運営等 【案内所管理費】 【事務局費】 人件費等 【収益事業支出】 白秋祭水上パレード・観光カレンダー・物販事業 着地型観光等 【マーケティング (市場調査、ブランド戦略等)】
2024 年度	75,000,000 (円) ¥8,000,000 ¥8,000,000 ¥32,000,000 ¥25,000,000 ¥2,000,000	(内訳の区分例) 【事業費】 プロモーション・ガイド 運営等 【案内所管理費】 【事務局費】 人件費等 【収益事業支出】 白秋祭水上パレード・観光カレンダー・物販事業 着地型観光・船事業等 【マーケティング (市場調査、ブランド戦略等)】
2025 年度	77,000,000 (円) ¥9,000,000 ¥8,000,000	(内訳の区分例) 【事業費】 プロモーション・ガイド 運営等 【案内所管理費】

(別添) 様式 1

	¥32,000,000	【事務局費】 人件費等
	¥25,000,000	【収益事業支出】 白秋祭水上パレード・観光カレンダー・物販事業 着地型観光・船事業等
	¥3,000,000	【マーケティング (市場調査、ブランド戦略等)】

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

- ・西鉄柳川駅西口の掘割引き込みや沖端水天宮周辺の整備事業が進行中。整備完了時期にあわせ、川下りと観光施設を組み合わせた観光商品の造成や販売を検討する
- ・ふるさと納税の返礼品取扱い業務などを実施できる体制を整えるとともに、ブランド認定品をはじめとする地元特産品の PR や販路拡大を図る
- ・現状行っているイベントをさらに磨き上げ来客数・収益を増やす(白秋祭水上パレード・さげもん巡り・夜の川下り等)
- ・観光客から、掘割の維持・改善のための環境協力費の導入を検討する
- ・柳川市内外の企業からの出資を募る

8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

福岡県、柳川市は、一般社団法人柳川市観光協会を柳川市における地域DMOとして登録したいので、一般社団法人柳川市観光協会とともに申請します

[柳川市の意見]

本市では、2019年3月、19年度から10カ年の観光振興計画を策定した。施策は①地域のデザイン力、②地域の交流力、③地域の推進力、以上3本の柱で構成しており、地域のデザイン力と交流力を支える推進力となる組織の確立が重要だと位置づけている。

マーケティング、コーディネート、ランドオペレーション機能を持つ民間組織の構築には、一般財団法人柳川市観光協会を母体として組織構築を目指したい

[福岡県の意見]

本県では、今年度から、一般社団法人柳川市観光協会に対して、DMO構築に向けた課題解決のための支援を行っており、DMOの要件とされる地域の多様な関係者の参画を確認し、さらにはマーケティング機能の強化等にも取り組んでいることを把握している。

このため、当該団体は、DMO構築を目指す組織として十分な機能を有していると考えている

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	風間 英人
担当部署名 (役職)	(一社) 柳川市観光協会 事務局長
所在地	福岡県柳川市沖端町 35
電話番号 (直通)	0944-73-2145
FAX 番号	0944-72-9013
E-mail	kazama@yanagawa-net.com

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	福岡県 柳川市
担当者氏名	犬塚 将徳
担当部署名(役職)	産業経済部 観光課 おもてなし推進係長
所在地	福岡県柳川市本町 87-1
電話番号(直通)	0944-77-8564
FAX 番号	0944-73-2516
E-mail	inuzuka-0612@city.yanagawa.lg.jp

都道府県・市町村名	福岡県
担当者氏名	三留 奈美
担当部署名(役職)	商工部 観光局 観光政策課
所在地	福岡県福岡市博多区東公園 7-7
電話番号(直通)	092-643-3446
FAX 番号	092-643-3431
E-mail	Mitsudome-n7918@pref.fukuoka.lg.jp